

鳩山イニシアティブの概要

(2009年12月16日記者会見@COP15・コペンハーゲン)

- ・我が国は、国際社会において重要な責任を担う国の一つとして、全ての主要国による公平かつ実効性のある国際的枠組みの構築と、全ての主要国の参加による意欲的な目標への合意を前提として、温室効果ガスの排出削減など気候変動対策に積極的に取り組む途上国、及び気候変動の悪影響に対して脆弱な途上国を広く対象として、2012年末までの約3年間で約1兆7,500億円(約150億ドル)、うち公的資金は1兆3,000億円(約110億ドル)規模の支援を実施していくことを決定。
- ・新たなイニシアティブの下、日本が有する低炭素技術などの優れた技術や知見を積極的に活用した途上国の削減行動への支援や、とりわけ緊急を要する脆弱な途上国や島しょ国の適応プロジェクトやキャパシティ・ビルディングへの支援を強化し、より広く総合的な分野に対し、効率的・効果的な支援を実施していく。